

有限責任中間法人日本顎関節学会 平成 19 年度事業報告書

I. 目的（定款第 3 条）

本法人は、会員相互並びに国内外の関連団体との交流を深め、顎関節学に関する基礎的及び臨床的研究、教育及び診療についての会員の能力向上を図るとともに、それにより地域社会における口腔の健康の維持と向上に貢献し、もって国民の健康と福祉の増進に寄与することを会員共通の目的として、次の事業を行った。

- (1) 学術大会の開催に関する事業
- (2) 研究発表会、講演会、講習会及び教育研修会などの開催
- (3) 機関誌、及びその他の出版物の刊行
- (4) 顎関節疾患の診断及び治療に関する各種資格認定事業
- (5) 顎関節に関する研究者並びに医療・保健・福祉事業者の教育及び育成事業
- (6) 顎関節疾患に関する調査並びに合同研究
- (7) 国内外の顎関節治療関連団体との連携及び交流
- (8) 顎関節疾患に関する医療・保健・福祉情報の発信並びに啓発事業
- (9) 研究の奨励及び助成並びに研究業績の表彰
- (10) その他本法人の目的を達成するために必要な事業

II. 学術大会の開催（定款第 3 条 1 項）

1. 第 20 回学術大会

第 20 回学術大会を開催した。

- 1) 日時：平成 19 年 7 月 14 日（土）、15 日（日）
- 2) 場所：仙台国際センター
- 3) 大会長：渡邊 誠（東北大学大学院歯学研究科口腔機能形態学講座加齢歯科学分野）
- 4) 参加者：総計 756 名
 1. 事前参加登録者 483 名
 2. 当日参加登録者 258 名
 3. 外国人 15 名
- 5) 総演題数：140 演題
 1. 一般口演 56 演題
 2. ポスター発表 84 演題
 3. 認定医ケースプレゼンテーション 14 演題
- 6) 会場数
 1. 口演会場 2 会場
 2. ポスター会場・企業展示 1 会場

3. 認定医ケースプレゼンテーション 1会場
- 7) 協賛企業：33社
- 8) 学術企画
- ① 特別講演：「脳を知り、脳を鍛える」
1. 座長：覚道健治（大歯大・本学会理事長）
 2. 講師：川島隆太（東北大）
- ② 教育講演：「顎関節における筋骨格系バイオメカニクス」
1. 座長：渡邊 誠（東北大・大会長）
 2. 講師：Christopher C. Peck
(The faculty of Dentistry ,The University of Sydney)
- ③ シンポジウムⅠ：「顎関節症の診療ガイドラインを考える」
1. オーガナイザー・座長：覚道健治（大歯大・本学会理事長）
座長 杉崎正志（慈恵医大）
 2. 講師
 - 1) 森 臨太郎（National Collaborating Centre For Womens and Childrens Health）「NICE 診療ガイドラインと世界における推奨グレードの現況」
 - 2) 松香芳三（岡山大）「顎関節症とエビデンス」
 - 3) 木野孔司（東医歯大）「顎関節症の診療ガイドラインの現状」
- ④ シンポジウムⅡ：「顎関節症のブレイクスルーはどこに？」
1. オーガナイザー：渡邊 誠（東北大・大会長）
座長：小林義典（日歯大）
 2. パネリスト
 - 1) 小林義典（日歯大）「顎関節症のブレイクスルーの緒」
 - 2) 皆木省吾（岡山大）「FJDT と顎関節の機械的負荷」
 - 3) 山本照子（東北大）「顎関節症の発症に関わる新たな因子を考える」
- ⑤ 一般系会員および臨床歯科医のためのセミナー
1. オーガナイザー・座長：中沢勝宏（中沢顎関節研究所）
和気裕之（みどり小児歯科）
 2. パネリスト
 - 1) 島田 淳（グリーンデンタルクリニック）
 - 2) 井川雅子（静岡市立清水病院口腔外科）
 - 3) 高野直久（高野歯科医院）

Ⅲ. 研究発表会、講演会、講習会及び教育研修会などの開催（定款第3条2項）

1. 第22回日本顎関節学会学術講演会

会期：2007年10月28日（日）10：00～16：30

会場：東京医科歯科大学 第一講義室（東京）

講師：和気裕之先生（横浜市開業）「患者の心をつかむ面接術 —医療面接と心身歯学—」

細木秀彦先生（徳島大）「パノラマエックス線写真でどこまでわかるか？」

山田和男先生（東京女子医大精神神経科）「歯科医に必要な不眠・頭痛と

精神疾患の知識」

田口望先生（愛知県開業）「一般開業医がすぐできる—顎の痛み・開口障害を

改善させるには—」

全申し込み者数 78名（日本顎関節学会会員74名、非会員4名）

事前申し込み者数 70名（日本顎関節学会会員67名、非会員3名）

当日申し込み者数 8名（日本顎関節学会会員7名、非会員1名）

当日出席者数 75名

欠席者数 3名

2. 第23回日本顎関節学会学術講演会

会期：2008年5月18日（日）10：00～16：30

会場：大阪歯科大学附属病院 5階 臨床講義室（大阪）

講師：藤下昌己先生（朝日大）「知っておくべき顎関節症の適切な画像検査と

診断ポイント」

加藤隆史先生（松歯大）「ブラキシズムわかっていること、いないこと」

和嶋浩一先生（慶応大）「治療につながる顎関節症診断痛いのは関節？筋肉？」

玉置勝司先生（神歯大）「顎関節症患者の治療のまえに、診断しておくべき重要

なこと」

全申し込み者数 99名（日本顎関節学会会員76名、非会員23名）

事前申し込み者数 81名（日本顎関節学会会員64名、非会員17名）

当日申し込み者数 18名（日本顎関節学会会員12名、非会員6名）

当日出席者数 97名

欠席者数 2名

Ⅳ. 学会誌その他の刊行物の発行（定款第3条3項）

1. 日本顎関節学会雑誌：3回発行

第19巻2号（2007年8月発行：投稿論文数6編）

第19巻3号（2007年12月発行：投稿論文数7編）

第20巻1号（2008年4月発行：投稿論文数5編）

V. 顎関節疾患の診断及び治療に関する各種資格認定事業（定款第3条4項）

認定医制度

任意団体日本顎関節学会認定医制度を暫定的に継続し、平成20年度学術大会時の理事会、社員総会で有限責任中間法人日本顎関節学会認定医制度暫定内規を上程する予定。

専門医制度

平成20年度学術大会時の理事会、社員総会で有限責任中間法人日本顎関節学会専門医制度規則を上程する予定。

VI. 顎関節に関する研究者並びに医療・保健・福祉事業者の教育及び育成事業

（定款第3条5項）

歯科技工士、歯科衛生士、看護師、等に対する医療・保健・福祉事業者の教育及び育成事業を企画すべく交渉を開始した。

VII. 顎関節疾患に関する調査並びに合同研究（定款第3条6項）

日本歯科医学会平成19年度プロジェクト研究のうちの「顎関節症の診療ガイドラインに関するプロジェクト研究」の責任学会として、日本歯科薬物両方学会、日本歯科補綴学会、日本口腔外科学会等と連携をとって合同研究を実施している。

VIII. 国内外の顎関節治療関連団体との連携及び交流（定款第3条7項）

日韓および日中における顎関節治療関連団体との連携を促進するための調印式を実施するための交渉を行った。

IX. 顎関節疾患に関する医療・保健・福祉情報の発信並びに啓発事業（定款第3条8項）

市民公開講座等の学会員以外を対象とした医療・保健・福祉情報の発信を次年度の実施すべく企画した。

X. 研究の奨励及び助成並びに研究業績の表彰（定款第3条9項）

平成19年度学会賞特別賞

該当者無し

平成19年度学会賞学術奨励賞

該当者無し

XI. その他本法人の目的を達成するために必要な事業（定款第3条10項）

公益法人法施行に向けての情報収集を開始した。